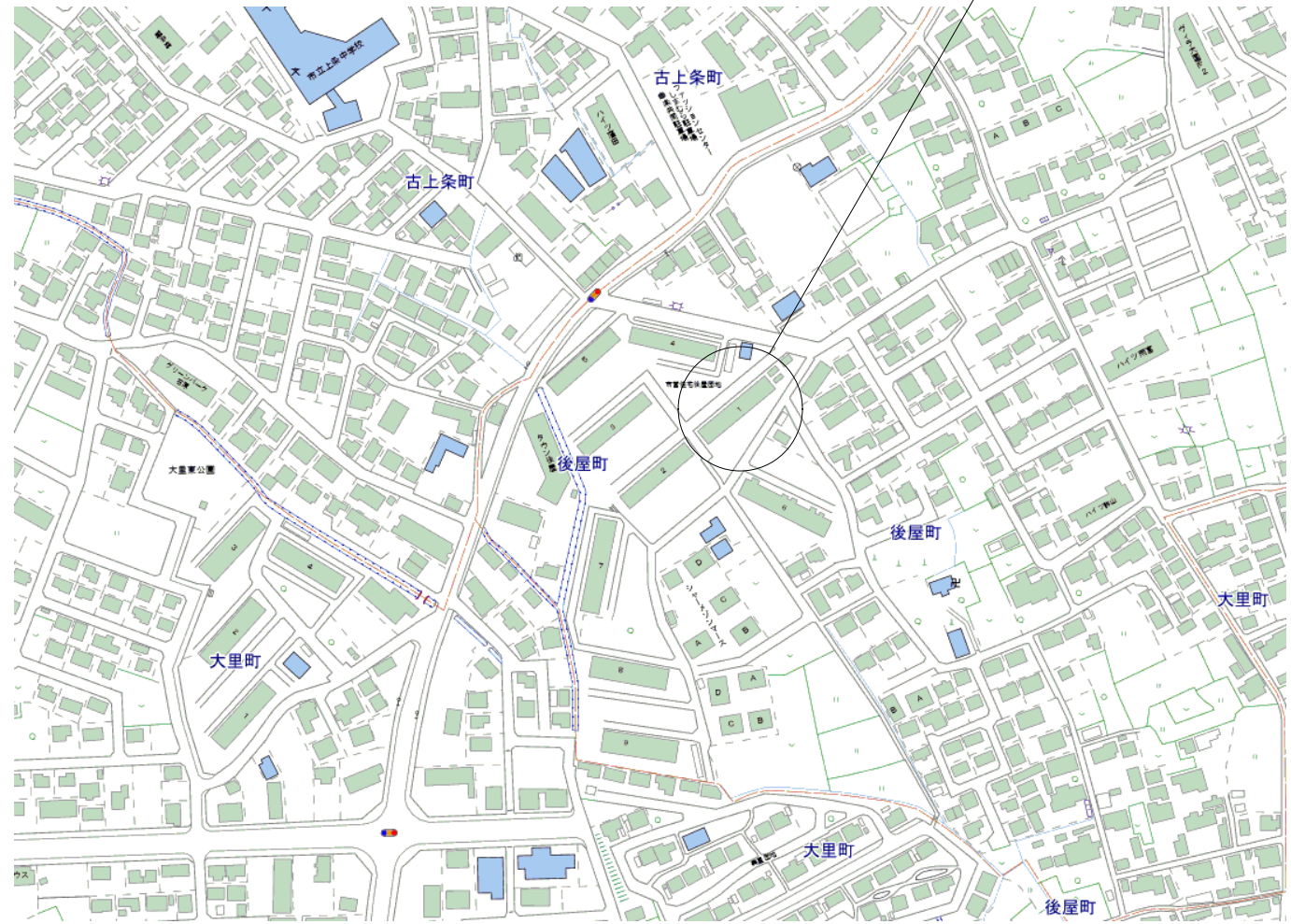




施工場所：後屋団地
甲府市後屋町 6 5 3 番地



施工場所：後屋団地 1 号館



※防水工事については、元請業者・施工業者
材料製造業者連名の10年間保証とすること。

案 内 図 S=1:free

配 置 図 S=1:free

□「甲府市暴力団排除条例の施行に伴う公共工事からの暴力団排除」を目的として、受注者は、下請負者を用いる場合には、金額・工種の如何にかかわらず、末端の下請負業者まで反映させた、「下請施工体系図」を作成し、遺漏・誤謬が無いよう記載内容を十分確認の上、遅滞なく監督員へ提出するものとする。また、提出した「下請施工体系図」の内容に変更が生じた場合は、その都度変更するものとし、遅滞なく監督員へ提出するものとする。なお、提出は打合せ簿によるものとする。

□工事写真の取扱い

- ・電子媒体により納品すること。
- ・納品時には、正副 1 部ずつを納品すること。
- ・使用する媒体は、C D - R とする。ただし、やむを得ない理由がある場合に限り、D V D - R の使用も可とする。
- ・電子媒体に対して必ずウイルスチェックを行うこと。（ウイルス対策ソフトは特に指定しないが、最新のウイルスも検出できるように最新のデータに更新したものを利用すること。）
- ・電子媒体には以下の情報を明記すること。

A. 工事名称	B. 工事場所	C. 契約番号	D. 発注者担当部署名称
E. 請負者名称	F. 作成年月	G. 何枚目／総枚数	H. ウィルスチェックに関する情報

I. C D - R フォーマット形式

- ・電子納品される写真データは、P D F 形式、エクセル等で編集したもので、従来の印刷物写真と同様な確認ができるものとする。
- ・写真データは、工種種別、撮影項目毎に分類し、工事の進捗に合わせて編集し、容易に確認できるファイル名・フォルタ名を付けて整理すること。
- ・工事写真の検査は、電子データで検査することを原則とするが、印刷物または電子データと併用で検査することも可能とし、その範囲は受発注者との協議による。
- ・検査に使用する機器の準備と操作は、受注者が行うことを原則とする。
- ・やむを得ない理由により、電子納品できない場合は、受発注者との協議により、従来の印刷物による納品も可とする。
- ・ここに定めなきことは、受発注者との協議により決定する。

□再生資源利用計画（実施）書及び再生資源利用促進計画（実施）書の提出（請負金額100万円以上の工事）

請負者は国土交通省のホームページから「建設リサイクル報告様式（計画書・実施書）（EXCEL 様式）」の最新バージョンをダウンロードし、作成出力した再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を出力し、1部（紙）を施工計画書に添付し監督員に提出するものとする。（以前より使用していたクレダスを使用した様式での提出はH30センサスに対応していないため不可）

工事完了後は速やかに、当初入力した工事データを実績値に修正した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を出力し、1部（紙）を完成書類に添付し、また、電子データを電子媒体（CD、DVD等）により監督員に提出するものとする。なお、入力した電子データは自社で1年間保管するものとする。

※入力時の最新版を国土交通省のホームページからダウンロードして入手すること。
(URL http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm)

□工事カルテに関する特記仕様（請負金額500万円以上の工事）

受注者は、工事実績情報サービス（C O R I N S）入力システム（（財）日本建設情報総合センター）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認お願い」を作成し監督員の確認（機関印または監督員の記名・押印及び電子メールアドレスを記入）を受けたうえ、（財）日本建設情報総合センターに登録申請するとともに、「登録内容確認書」の写しを監督員に提出しなければならない。提出の期限は、以下のとおりとする。

- ①受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内（土・日曜日及び祝日等を除く）とする。
- ②完成時登録データの提出期限は、業務完成後10日以内とする。
- ③業務履行中、受注時登録データの内容のうち、「工期」または「現場代理人」または「監理・主任技術者」に変更があった場合は、変更があった日から10日以内（土・日曜日及び祝日等を除く）に変更データを登録申請しなければならない。工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金2,500万円を超えて変更する場合には変更時登録を行うものとする。
- ④訂正時は、適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

□別途発注工事について

受注者は、別途発注の上町住宅1号館屋上防水改修工事の落札業者と仮設足場の使用を協議し足場使用の承諾を行うこと。

また、工事期間の相違がある場合は、昇降足場について引継ぎ等協議を行うこと。

<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>		まちづくり部 まちづくり総室 住宅課		設 計		縮 尺	1/free	工事名称 後屋団地 1 号館外壁改修工事	1 No.
						設計年月日	R6.5.	図面名称 案内図・配置図	

7

塗装改修工事

①材料

壁内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。
ウリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外
・第三種

②下地調整

下地の種類	下地調整の種類	備 考
木部	・ R A種 ※ R B種	
鉄鋼面	・ R A種 ⑤ R B種	
亜鉛めっき面	・ R A種 ※ R B種	
亜鉛めっき面（鋼製建具）	※ R B種 ・ R C種	
モルタル、プラスター面	・ R A種 ⑤ R B種	

既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修
※行わない ・ 行う（補修範囲及び補修方法は図示）

3合成樹脂調合ペイント塗り

新規鉄面の塗りの種類 ・ A種 ※ B種

4フタル酸樹脂エナメル塗り

新規木部の塗りの種類 ・ A種 ※ B種

新規鉄面、亜鉛めっき面の塗りの種類
・ A種 ※ B種

⑤2液形ポリウレタンエナメル塗り

下地の種類	下地調整	下塗り	中塗り・上塗り	備 考
既存鉄鋼面	R B種[表 7.2.2]	JIS K 5551又は 2 液塗 JASS108-109	JIS K 5658又は JIS K 5659	
既存V P面	R C種[表 7.2.2]	プライマー	JIS K 5658又は JIS K 5659	

※塗装仕様については、塗料メーカーの仕様を原則とし、監督員と協議すること。

67714/12樹脂エナメル塗り

新規鋼製建具等 ※ B種

7常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り

下地の種類	新規塗りの種類	塗り替えの種類	備 考
鉄面	※ A種 ・ B種	・ A種 ※ B種	
亜鉛めっき面	※ A種 ・ B種	・ A種 ※ B種	
コンクリート及び押出成形セメント板面	※ A種 ・ B種	・ A種 ※ B種	

新規の塗りの種類 ・ A種 ※ B種

⑧つや有合成樹脂エマulsionペイント塗り

新規の塗りの種類 ・ A種 ※ B種

9合成樹脂エマulsionペイント塗り

新規の塗りの種類 ・ A種 ※ B種

10合成樹脂エマulsion模様塗り

新規の塗りの種類 ・ A種 ※ B種

塗り替えの場合

既存塗膜	下地調整	種 別
合成樹脂エマulsion模様塗り	※ R B種 ・ R C種	※ A種 ※ C-3種
平滑な塗料塗り	※ R B種 ・ R C種	・ A種 ・ B種 ・ C-1種 ・ C-2種

新規の塗りの種類 ・ A種 ※ B種

11アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り

下地の種類	新規塗りの種類	塗り替えの種類	備 考
コンクリート及びモルタル面	※ A種 ・ B種	・ A種 ※ B種	

新規の塗りの種類 ・ A種 ※ B種

9

アスベスト除去工事

1アスベスト含有仕上塗材が使用されている外壁改修工事

外壁の改修にあつては、「建築物の改修・解体時における石棉含有建築用仕上塗材からの石棉粉塵飛散防止処理技術指針（国立研究開発法人建築研究所）」（以下「技術指針」）に基づき行う。
○施工方法
・アスベスト含有仕上塗材の除去は、技術指針で隔離養生は必要ないとされている工法で行う。
（剥離剤併用手工具ケレン工法及び集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法）
・外壁面の洗浄は飛散のおそれのない水圧（15MPa以下）で行う。
・アスベスト含有仕上塗材が施工されている部分に対し、切断、穿孔等の作業を行う場合は、事前に仕上塗材を除去した上で施工する。
・集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法で使用する集塵装置は、HEPAフィルターを使用し、粉塵を除去する方法とする。
・作業時の剥離養生及びセキュリティゾーンの設置は不要。
・アスベスト含有仕上塗材の除去を行う者は、防護服及び防護マスク（フィルターはR1.3又はR3以上）を着用する。
・作業終了時に（作業エリアを出る際）使用した防護服は特別管理産業廃棄物として廃棄する。（作業エリア内で袋詰め）
・集塵機フィルターなどの粉塵が付着した消耗品の交換を行う際には、集積した粉塵を再飛散させないように、グローブバッグを使用するなどの措置を行う。
○簡易養生
・アスベスト含有仕上塗材の除去を行う場合は、作業エリアを明確にし、施工場所周辺の汚損を防止するための養生（以下「簡易養生」という）を行う。 ※養生設置箇所（風、足場板、手摺りなど）
○石棉濃度測定
・環境省の石棉飛散防止マニュアルの記載に準ずる方法で測定すること。
・測定箇所、時期は次のとおりとする。

測定時期	測定箇所	測定点
処理作業前	作業エリア付近（養生外）	4点
処理作業中	作業エリア付近（養生外）	4点

※測定箇所は監督員と協議し確定すること

○その他
・着工前に施工方法、簡易養生、石棉濃度測定について事前に監督員と協議すること。

⑧

その他

①居ながら工事

工事中の住戸は、居住者が居るため、工事中の入居者の通行を確保すると共に、安全対策には、十分配慮すること。

②収付け養生

外壁吹付け時には、足場養生シートによる十分な飛散防止対策を行うとともに、住人の駐車車両についても、車両用ビニールカバーで覆うなどの十分な対策をとること。
また、ベランダに設置のエアコン屋外機についても必要な養生を行うこと。
なお、万が一、飛散による苦情及び被害があった場合には、施工者にて誠実に対応すること。

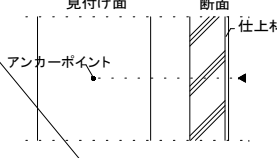
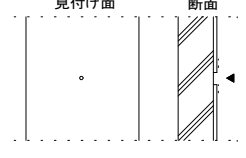
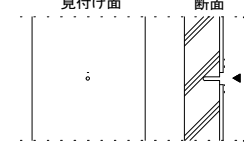
③仮設工事

別途発注の屋上防水改修工事があるため、仮設足場の使用を協議し足場使用の承諾を行うこと。
また、工事期間の相違がある場合は、昇降足場分について引継ぎ等協議を行うこと。

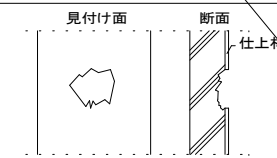
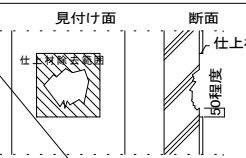
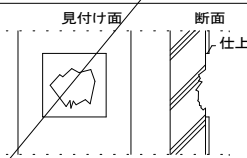
【アスベスト除去部分施工方法】

○外壁改修について、高圧洗浄は飛散の恐れのない水洗とし、足場アンカー、欠損部補修、既存塗膜除去の施工箇所は、アスベスト含有仕上塗材を剥離剤併用手工具ケレン工法及び集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法等で事前に除去し、施工する。（隔離養生なし）

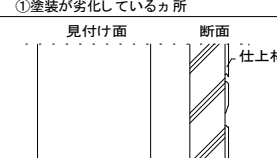
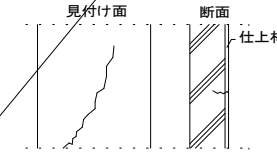
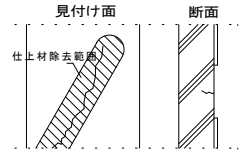
<足場アンカー設置箇所特定>

①足場アンカー設置箇所特定	②アスベスト含有仕上塗材除去	③足場アンカーを設置
<div>見付け面 断面</div>  <div>・足場アンカー設置箇所にマーキング ・ビニールシートによる簡易養生（周囲の汚れ防止）</div>	<div>見付け面 断面</div>  <div>・集塵装置付きドリルにより穿孔 ・防護マスク（使い捨てでない）着用 ・防護服着用</div>	<div>見付け面 断面</div>  <div>・以降通常どおり足場アンカーを設置</div>


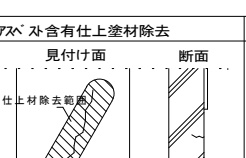

<欠損部補修部分>

①外壁調査	②アスベスト含有仕上塗材除去	③欠損部補修
<div>見付け面 断面</div>  <div>・外壁補修箇所調査（欠損部調査） ・施工場所マーキング ・ビニールシートによる簡易養生（周囲の汚れ防止）</div>	<div>見付け面 断面</div>  <div>【共通】 ・除去範囲は欠損箇所から50mm程度 ・仕上塗材（アスベスト含有）を除去 （剥離剤併用手工具ケレン工法） （剥離剤併用集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法） ・防護マスク（使い捨てでない）着用 ・防護服着用</div>	<div>見付け面 断面</div>  <div>・以降通常どおり欠損部補修</div>

<既存塗膜除去部分>

①塗装が劣化しているか所	②アスベスト含有仕上塗材除去	③Uカット施工
<div>見付け面 断面</div>  <div>・外壁補修箇所調査（既存塗膜除去部調査） ・施工場所マーキング ・ビニールシートによる簡易養生（周囲の汚れ防止）</div>	<div>見付け面 断面</div>  <div>・仕上塗材（アスベスト含有）を全て除去 （剥離剤併用手工具ケレン工法） （剥離剤併用集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法） ・防護マスク（使い捨てでない）着用 ・防護服着用</div>	<div>見付け面 断面</div>  <div>・以降通常どおり外壁改修を行う。</div>

<クラック補修部分>幅0.2mm以上

①外壁調査（クラック幅）	②アスベスト含有仕上塗材除去	③Uカット施工
<div>見付け面 断面</div>  <div>・外壁補修箇所調査（クラック幅調査） ・幅0.2mm以上のクラックのみUカットを施工 ・Uカットを施工するクラックをマーキング ・ビニールシートによる簡易養生（周囲の汚れ防止）</div>	<div>見付け面 断面</div>  <div>【共通】 ・除去範囲はクラック補修部分に限る（幅10cm程度） ・仕上塗材（アスベスト含有）を除去 （剥離剤併用手工具ケレン工法） （剥離剤併用集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法） ・防護マスク（使い捨てでない）着用 ・防護服着用</div>	<div>見付け面 断面</div>  <div>・以降通常どおりクラック補修（Uカット）</div>

まちづくり部 まちづくり総室 住宅課

設計

縮 尺

設計年月日

R6.5.

工事名称

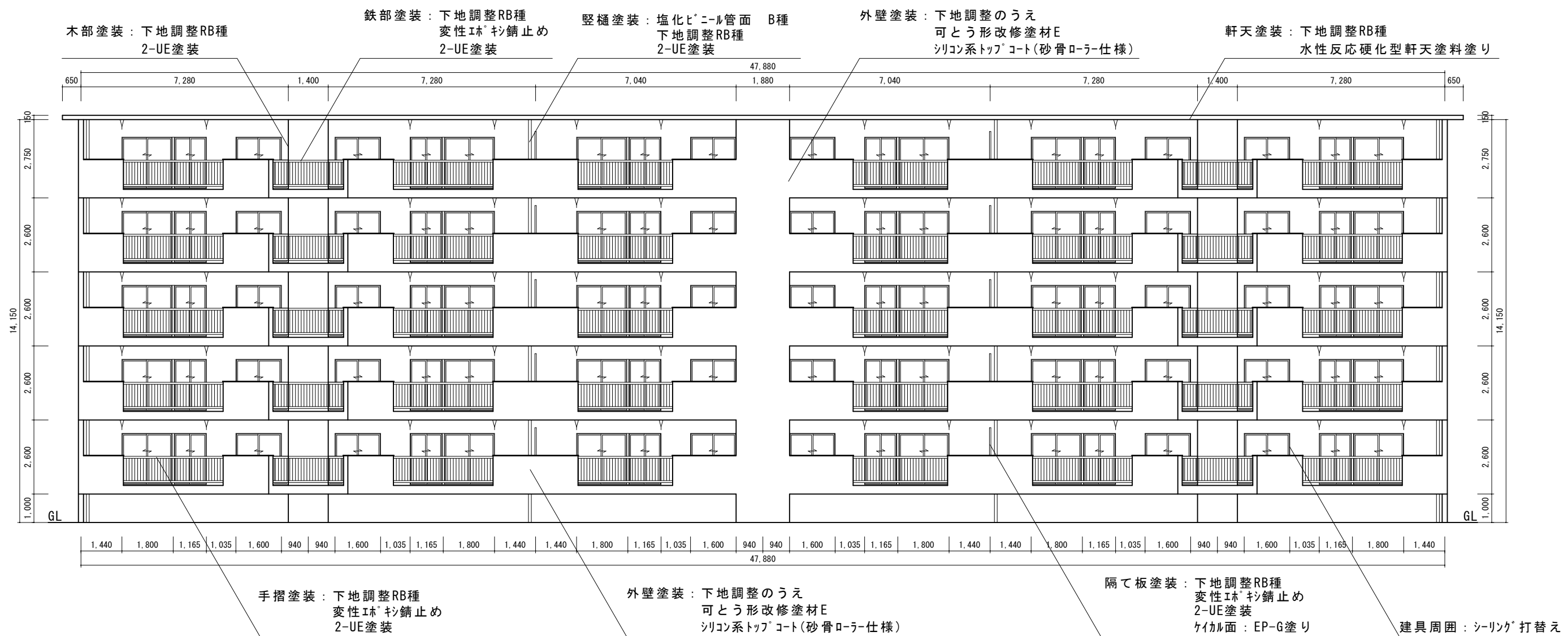
後屋団地1号館外壁改修工事

図面名称

改修工事特記仕様書

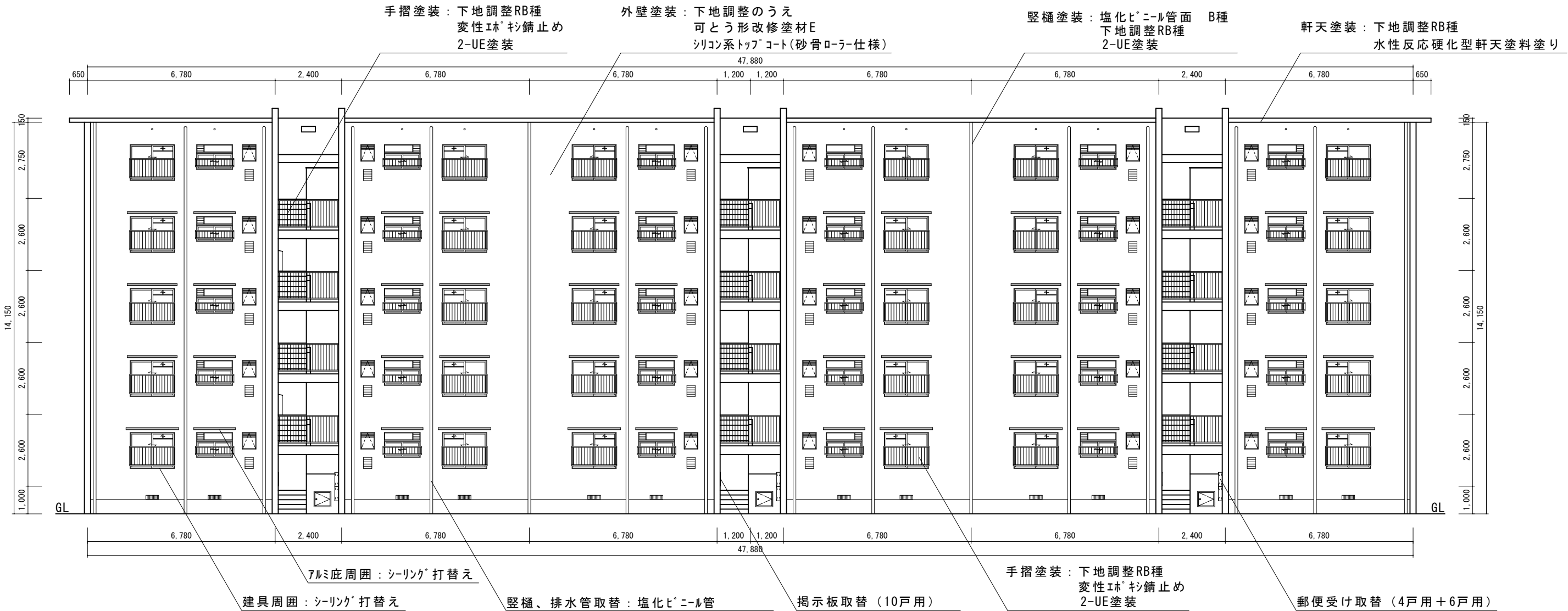
2

No.



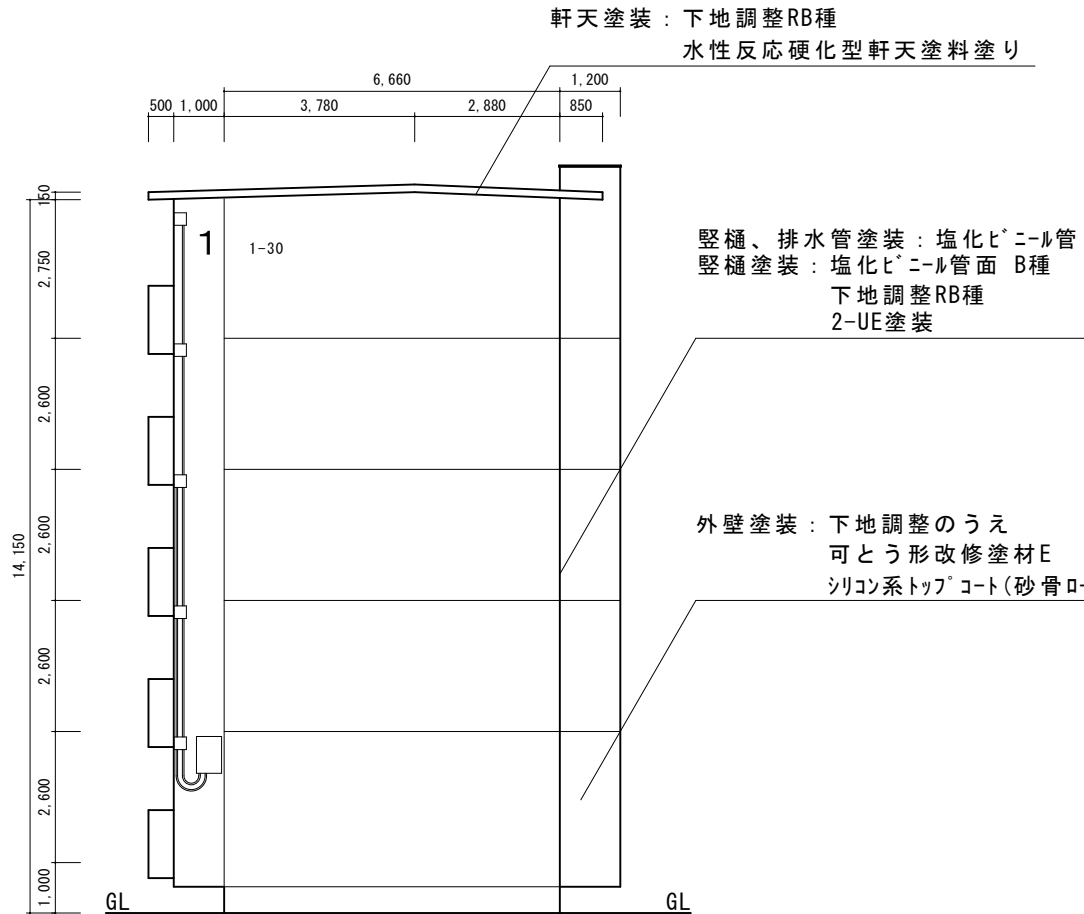
外壁改修仕様	塗装改修仕様	防水改修仕様
・外壁調査 足場施工後外壁・軒天・階段室全面について、浮き部・ひび割れ部・欠損部の調査を行い施工図及び数量計算表を作成すること	・階段室天井、壁塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） 水性反応硬化形塗料塗り	・既存シーリング撤去 建具周囲
・既存郵便受け 仮移設後撤去処分、新規取付 4戸用+6戸用（杉田エス同等品以上：244-242(243)）	・階段室腰壁塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） 水性反応硬化形塗料塗り	・既存シーリング撤去 7mm底周囲
・掲示板 仮移設後撤去処分、新規取付 10戸用 720×410（杉田エス同等品以上：211-326）	・縦樋、排水管塗装 塩化ビニール管面 B種 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	・ベランダ床清掃及び水洗い 立上り、手摺り下笠木共
・既存塗膜劣化部補修 下地調整 C-1 ケレン 清掃 目荒し共	・玄関扉、手摺塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	・ベランダ床下地補修 下地調整剤塗布 立上り、手摺り下笠木共
・既存塗膜劣化部補修 下地調整 C-1 ケレン 清掃 目荒し共	・PS扉、点検口塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	・ベランダ床防水 超速硬化ウレタン塗膜防水 t=3.0 ノンスリップ仕上げ 立上り、手摺り下笠木共
・浮き部補修 一般部 9本/m ² 注入口付アンカベジキング部分エポキシ樹脂注入工法	・換気グリッド塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	・手摺りエメル笠木 ウレタン塗膜防水 糸幅200程度 X-2（密着工法が推奨入り）
・浮き部補修 狭幅部 5本/m 注入口付アンカベジキング部分エポキシ樹脂注入工法	・物干し金物塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	非歩行用カーケルンゴム仕上げ
・ひび割れ部補修 0.2mm未満 シール工法 可とう性エポキシ樹脂充填	・外壁棟番号塗装 両面各1ヶ所	・シーリング打ち 建具周囲
・ひび割れ部補修 0.2mm以上 ウットシール材充填工法 可とう性エポキシ樹脂充填	・玄関扉部屋番号 カッティングシート貼	・シーリング打ち 7mm底周囲
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（100×100） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂エメル充填	・消火器BOX塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（200×200） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂エメル充填	・盤、配管塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（300×300） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂エメル充填	・ラック塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	
・欠損部補修 100×100程度 下地補修 樹脂エメル充填	・ポアードレン塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	
・外壁塗装 下地調整のうえ、可とう形改修塗材E シリコン系トップコート 砂骨ローラー仕様	・隔て板塗装 大800×1,800 工程B種 下地調整RB種 2-UE塗装 ケイカル面：EP-G塗り	
・軒天塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） 水性反応硬化形塗料塗り	・隔て板塗装 小450×900 工程B種 下地調整RB種 2-UE塗装 ケイカル面：EP-G塗り	
・縦樋、排水管取替（北面） 塩化ビニール管 φ75、φ65、φ50	・収納扉塗装 木部面 B種 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	
	・避難誘導ステッカー貼 隔て板面 150×400 材工共	

南立面図 S=1:150



外壁改修仕様	塗装改修仕様	防水改修仕様
・外壁調査 足場施工後外壁・軒天・階段室全面について、浮き部・ひび割れ部・欠損部の	・階段室天井、壁塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） 水性反応硬化形塗料塗り	・既存シーリング撤去 建具周囲
調査を行い施工図及び数量計算表を作成すること	・階段室腰壁塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） 水性反応硬化形塗料塗り	・既存シーリング撤去 アルミ底周囲
・既存郵便受け 仮移設後撤去処分、新規取付 4戸用+6戸用（杉田エス同等品以上：244-242(243)）	・縦樋、排水管塗装 塩化ビニール管面 B種 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	・ベランダ床清掃及び水洗い 立上り、手摺り下笠木共
・掲示板 仮移設後撤去処分、新規取付 10戸用 720×410（杉田エス同等品以上：211-326）	・玄関扉、手摺塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	・ベランダ床下地補修 下地調整剤塗布 立上り、手摺り下笠木共
・既存塗膜劣化部補修 下地調整 C-1 ケレン 清掃 目荒し共	・PS扉、点検口塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	・ベランダ床防水 超速硬化ウレタン塗膜防水 t=3.0 ノスリッ仕上げ 立上り、手摺り下笠木共
・浮き部補修 一般部 9本/㎡ 注入口付アンカベネンシング部分エポキシ樹脂注入工法	・換気グリル塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	・手摺りモルタル笠木 ウレタン塗膜防水 糸幅200程度 X-2（密着工法がラスクス入り）
・浮き部補修 狭幅部 5本/m 注入口付アンカベネンシング部分エポキシ樹脂注入工法	・物干し金物塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	非歩行用カーウレタンゴム仕上げ
・ひび割れ部補修 0.2mm未満 シール工法 可とう性エポキシ樹脂充填	・外壁棟番号塗装 両面各1ヶ所	・シーリング打ち 建具周囲
・ひび割れ部補修 0.2mm以上 ウカットシール材充填工法 可とう性エポキシ樹脂充填	・玄関扉部屋番号 カッティングシート貼	・シーリング打ち アルミ底周囲
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（100×100） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・消火器BOX塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（200×200） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・盤、配管塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（300×300） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・クランプ塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	
・欠損部補修 100×100程度 下地補修 樹脂モルタル充填	・ポアードレン塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	
・外壁塗装 下地調整のうえ、可とう形改修塗材E シリコン系トップコート 砂骨ローラー仕様	・隔て板塗装 大800×1,800 工程B種 下地調整RB種 2-UE塗装 ケイカル面：EP-G塗り	
・軒天塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） 水性反応硬化形塗料塗り	・隔て板塗装 小450×900 工程B種 下地調整RB種 2-UE塗装 ケイカル面：EP-G塗り	
・縦樋、排水管取替（北面） 塩化ビニール管 φ75、φ65、φ50	・収納扉塗装 木部面 B種 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	
	・避難誘導ステッカー貼 隔て板面 150×400 材工共	

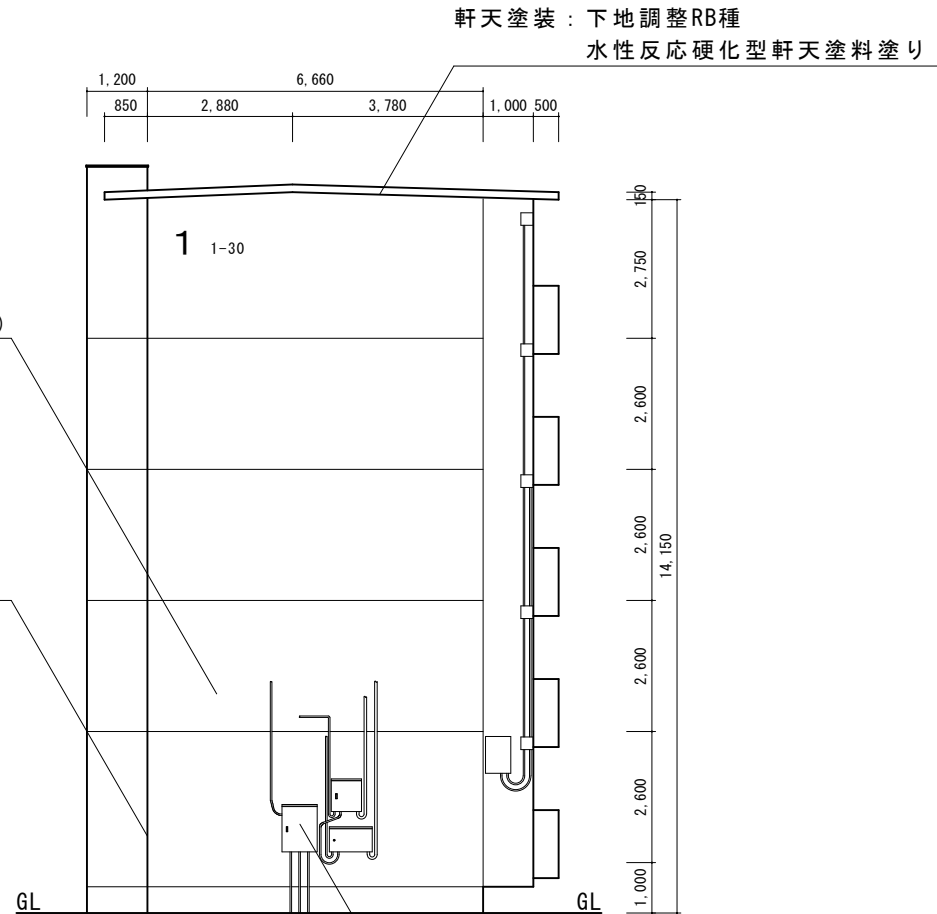
北 立 面 図 S=1:150



外壁塗装：下地調整のうえ
可とう形改修塗材E
シリコン系トップコート(砂骨ローラー仕様)

外壁塗装：下地調整のうえ
可とう形改修塗材E
シリコン系トップコート(砂骨ローラー仕様)

縦樋塗装：塩化ビニール管面 B種
下地調整RB種
2-UE塗装



鉄部塗装：下地調整RB種
変性エポキシ錆止め
2-UE塗装

外壁改修仕様	塗装改修仕様	防水改修仕様
・外壁調査 足場施工後外壁・軒天・階段室全面について、浮き部・ひび割れ部・欠損部の調査を行い施工図及び数量計算表を作成すること	・階段室天井、壁塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） 水性反応硬化形塗料塗り	・既存シーリング撤去 建具周囲
・既存郵便受け 仮移設後撤去処分、新規取付 4戸用+6戸用（杉田エス同等品以上：244-242(243)）	・階段室腰壁塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） 水性反応硬化形塗料塗り	・既存シーリング撤去 アルミ底周囲
・掲示板 仮移設後撤去処分、新規取付 10戸用 720×410（杉田エス同等品以上：211-326）	・縦樋、排水管塗装 塩化ビニール管面 B種 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	・ベランダ床清掃及び水洗い 立上り、手摺り下笠木共
・既存塗膜劣化部補修 下地調整 G-1 ケレン 清掃 目荒し共	・玄関扉、手摺塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	・ベランダ床下地補修 下地調整剤塗布 立上り、手摺り下笠木共
・既存塗膜劣化部補修 下地調整 G-1 ケレン 清掃 目荒し共	・PS扉、点検口塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	・ベランダ床防水 超速硬化ウレタン塗膜防水 t=3.0 ノズリップ仕上げ 立上り、手摺り下笠木共
・浮き部補修 一般部 9本/㎡ 注入口付アンカベトン部ホリウレタン樹脂注入工法	・換気グリッド塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	・手摺りモルタル笠木 ウレタン塗膜防水 糸幅200程度 X-2（密着工法がラスタス入り）
・浮き部補修 狭幅部 5本/m 注入口付アンカベトン部ホリウレタン樹脂注入工法	・物干し金物塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	非歩行用カーケレンゴム仕上げ
・ひび割れ部補修 0.2mm未満 シール工法 可とう性エポキシ樹脂充填	・外壁棟番号塗装 両面各1ヶ所	・シーリング打ち 建具周囲
・ひび割れ部補修 0.2mm以上 ウォッシャー材充填工法 可とう性エポキシ樹脂充填	・玄関扉部屋番号 カッティングシート貼	・シーリング打ち アルミ底周囲
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（100×100） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・消火器BOX塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（200×200） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・盤、配管塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（300×300） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・タラップ塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	
・欠損部補修 100×100程度 下地補修 樹脂モルタル充填	・ドアドレン塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	
・外壁塗装 下地調整のうえ、可とう形改修塗材E シリコン系トップコート 砂骨ローラー仕様	・隔て板塗装 大800×1,800 工程B種 下地調整RB種 2-UE塗装 ケイカル面：EP-G塗り	
・軒天塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） 水性反応硬化形塗料塗り	・隔て板塗装 小450×900 工程B種 下地調整RB種 2-UE塗装 ケイカル面：EP-G塗り	
・縦樋、排水管取替（北面） 塩化ビニール管 φ75、φ65、φ50	・収納扉塗装 木部面 B種 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イメル2回塗	
	・避難誘導ステッカー貼 隔て板面 150×400 材工共	

東立面図 S=1:150

西立面図 S=1:150